

11.08.13～14 槍ヶ岳山行報告書

M1 荒川 晶

行程(山域：山と高原地図 37 槍ヶ岳、穂高岳)

1日目：涸沢診療所 05:00～06:40 横尾 07:00～08:10 槍沢ロッジ 08:25～09:10 大曲 09:30～10:30 水俣乗越 11:00～（東鎌尾根）～13:00 ヒュッテ大槍 13:10～14:20 槍ヶ岳山荘(泊)
2日目：槍の穂先往復(04:30～05:50)～槍ヶ岳山荘 06:20～08:20 南岳 08:50～10:20 天狗原 10:50～槍沢～13:40 横尾 14:20～16:20 涸沢診療所

参加者：M1 荒川(単独)

山行報告

<1日目>

バスの掃除などを済ませて、05:00に診療所を出発。通いなれた横尾までの道を下り、ノンストップで1時間40分ほどで横尾に到着。本谷橋から先の平坦地であまりペースが上がらなかったのも思ったより時間が掛りました。

横尾で20分ほど休憩したのちは、槍沢に沿って登って行きます。こちらでも平坦な区間が続き歩きやすい道のりでした。一の俣谷、二の俣谷などを渡りながら現在地を確認し、コースタイムより速いペースで来ていることを確認しつつ、1時間少々で槍沢ロッジに到着。

ロッジ付近からは登山者を良く見かけ、木の隙間からは早くも槍の穂先を眺めることが出来ました。(右写真)

15分ほど休憩して、槍沢沿いに再び登って行きます。途中では槍沢キャンプ地を経由して(下写真)、水俣乗越への分岐のある大曲へ。この辺りから少しずつ勾配がきつくなってきましたが、予想よりも大分早く到着出来ました。



ここからは素直に槍沢を遡上していくルートがメインなのですが、単調な登りが続くようなので敢えて水俣乗越へのルートを取ることにしました。多くの人が通るルートとは違って若干寂れ、しかもそこそこ勾配のきついルートを狭い谷を何度も切り返しながらかつて登って行きます。

結構きつかったのもので途中で小休止を取ったりしつつも、1時間ほどで水俣乗越まで到着することが

出来ました。

大曲到着までは天気良かったのですが、その後少しずつ雲が増え始め、昼食を取っている間にすっかり曇り空になってしまったのがちょっと残念でした。

それでも水俣乗越からの景観は素晴らしく、北鎌尾根や、天上沢、そして遠方には湯俣温泉から高瀬ダムなど、涸沢とは全く違った景色が広がっていてしばし見とれてしまいました。(右写真)

ゆっくり休憩した後は、いよいよ東鎌尾根へ入ります。ここからは少し登山道も険しくなり、岩場も増えますが、尾根が切り立った箇所もなく、安全に歩けるコースでした。それでも単独行ともあったので慎重に歩を進めます。

尾根の全景は左写真のようすで、細かなアップダウンを繰り返しながら少しずつ高度を稼いでいきます。難所と思われる場所には梯子や鎖が設置されていて、問題なく歩けました。

自分の前後 10 分ぐらいの時間差で 2,3 パーティーが動いていたので、休憩の度に抜きつ抜かれつしながらヒュッテ大槍を目指します。

途中休憩を挟みつつ、2 時間ほどでヒュッテ大槍に到着。

この付近からは東鎌尾根から西岳、そこから大天井岳、常念岳、そして蝶ヶ岳までの稜線を一望でき中々の絶景で、是非一度訪れたいような景色でした。(右写真)

15 分ほど休んだ後は今日の宿泊地、槍ヶ岳山荘を目指して歩を進めます。この付近まで来ると植生は殆どが這い松ばかりになり、岩を平らにならして石畳のようにした荒涼とした光景の中を歩いていきます。(下写真)

早朝からの行程が 8 時間近くなってきたことや、空気が診療所と比べても大分薄くなってきたこともあってか、少しバテ気味だったのでペースをやや遅めにしながら 14 時過ぎに今日の目的地の槍ヶ岳山荘に到着です。

疲れていたもので、特にその後はどこにも行かずに早々と夕食を済ませて、(自炊)明日に備えて 19 時ごろには就寝しました。

<2 日目>

この日も晴れそうだったので 3 時に起床。昨晚はガスが多かったのですが、予想通り綺麗な晴れ。槍ヶ岳背景に星空の写真を撮ったりした後に(右写真)、朝食を済ませ、槍ヶ岳の穂先へとアタックを試みます。ここはやはり岩場でしたが、多くの人が通る箇所ともあり鎖、梯子が丁寧に整備されていて、三点確保などに注意さえすれば問題なく登れるルートでした。この日はちょうど満月で、ちょうど遠方の笠ヶ岳と、その背後に月が揃い綺麗でした。(下写真)

30 分ほどかけて穂先に到着するとそこにはすでに 30 人程の人が。狭い穂先でしたがそれでも余裕を持ってカメラを構え、雲の隙間からでしたが、ご来光を拝むことが出来ました。(下写真)

この後は記念写真を撮ってもらったりして、渋滞気味の下山路(登山路、下山路が混雑緩和のため分かれています)を歩いて槍ヶ岳山荘へ戻ります。

荷物を纏めて少々休憩し、出発の支度をした後は南岳までの尾根を縦走することにします。

このルートは大キレットを通る人たちが賑わうコースですが、今回は単独行で自信がなかったので、そ

の後天狗原を経由して下山することにしました途中には大喰岳、中岳などのピークがあり、そこで少々休憩しながら、少しずつ槍ヶ岳が遠のいていくのを眺めながら、南岳を目指します。(下写真)

コースは比較的歩きやすかったですが、今までのルートとは違って敷き詰められた岩の上を歩いてゆくの、案内標識もしっかりしているのですが、ガスが掛ったりすると道に迷ってしまう危険性があるかもしれないな、と感じました。

前方のキレットや北穂、奥穂の稜線を眺めてみるとついつい行きたくなってしまうのですが、その気持ちを押さえて、2時間ほどで南岳へ。

この尾根を下りてしまうと笠ヶ岳や奥穂、北穂の山々もう見られなくなってしまうので、しっかりと眼に焼き付けてから天狗原を目指して下山することにします。

天狗原へのルートはやはりあまりメジャーではないようで、鎖、梯子などがきちんと整備されていましたが、若干勾配がきつかったり、岩を渡り歩いたりする場所が多かったです。

景色はまた今までと違った良さがあり、槍ヶ岳から東鎌尾根や殺生ヒュッテ等が一望出来ました。(右写真)

初めは尾根を辿るルートでしたが、途中から尾根を外れ、雪渓を横断して天狗原へ向かいます。この辺りから場所が開けてきたのでマークを辿らないと道を外れやすく、特にガスの掛っている時は気を付けなければいけないと感じさせられました。(左写真)

コースタイムよりやや時間が掛かったので、少し心配しながらも1時間20分ほどで天狗池に到着。

風も穏やかに定番の逆さ富士も見ることが出来ました(右写真)

水面に若干汚れが残ってしまっていたのが少々残念でした。

天気も良く暑いぐらいの気温だったのでちょっと長めに休憩して、ここから涸沢までの行程に備えます。

天狗池から槍沢の天狗原分岐までのルートも岩のガレ場が多く、ルートファインディングにはやや慎重を要しました。最後に雪渓を渡って天狗原分岐に到着します。(下写真)

ここからはメインルートなので小走り而下り、他の登山者たちを何人も追い抜きながら一気に横尾を目指します。槍沢のキャンプ地で少々休憩して、3時間弱で横尾に到着することが出来ました。

この日は終日天気が良く、横尾では日陰に入っていないと暑いぐらいの天候でした。暫く昼食がてら休憩して、通いなれた涸沢までの道を登って診療所に無事に戻ってくることが出来ました。

2日間の行程がかなり長時間に渡り、疲れましたが両日とも比較的天候に恵まれ、槍沢、槍ヶ岳、天狗原の雰囲気満喫できたよい山行とすることが出来ました。